健 幸 づ く り プ ロ ジ ェ ク ト

１．プロジェクトの概要

(1) プロジェクトのねらい

県立病院・大学等で保有する医療データや健診機関で保有する健診データ等を生かし、健康・医療・介護データを連結するビッグデータの連携基盤を構築し、その活用を通じて、健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現を目指します。

(2) 取組内容及び工程表

取組内容	短期的 (2019～2022)	中期的 (2023～2026)	長期的 (2027～)
個別疾患を抽出するシステムの構築	脳卒中を抽出するシステムを構築	がんや心疾患など本県の健康課題を解決する疾病にシステムを応用	
健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築	全国保健医療情報ネットワークの動きと連動し、岩手県版医療ビッグデータ連携基盤を構築		
ビッグデータを活用した健康対策の推進	発症予防、再発予防、後遺症対策等へシステムを活用	岩手県版医療ビッグデータ基盤を活用した健康対策の推進	

２．これまでの取組状況

R01	・医療等ビッグデータ利活用推進事業有識者会議（医療等ビッグデータ連携基盤の要件検討等） ・調査研究（電子カルテデータを取り込むためのシステム要件の調査等） ・岩手県医療等ビッグデータ利活用システムの構築
R02	・岩手県医療等ビッグデータ利活用システムの機能強化（電子カルテデータ取込機能開発等） ・保険者等からのデータ収集
R03	・基本となる分析への着手 ・外部機関との連携に向けた調整 ・保険者等からのデータ収集

３．今後の取組方向

今まで個別に分析が行われていた健康、医療、介護のデータを連結し、**医療等ビッグデータの分析による本県独自のデータヘルスを展開**。これまで構築してきた岩手県医療等ビッグデータ利活用システムを活用し、データに基づく市町村支援や健康づくりに向けた情報発信など、**健康寿命の延伸に向けた取組**を行っていきます。

４．令和４年度の具体的な取組

(1) 岩手県医療等ビッグデータ利活用システムを活用した市町村支援

ア　分析結果を踏まえたデータに基づく市町村支援

健康・医療・介護データを連結した分析や、他保険者との比較・俯瞰的分析結果を市町村に還元するなど、データに基づく市町村支援を強化

イ　国保データを活用した市町村国保事業の支援

大学等と連携し、保健事業（重症化予防等）と介護予防（運動能力低下の防止等）を一体的に行うモデル事業を実施

ウ　外部機関との連携の推進

研究機関などの外部機関と連携した取組（共同研究等）を実施

(2) 健康づくりに向けた情報発信

医療等ビッグデータの分析結果も踏まえ、SNS等を活用して健康づくりに向けた情報発信を実施

